大同生命保険株式会社

大同生命 寄付講座

サスティナブル・ツーリズムの展開と地域創生

関西学院大学 専門職大学院 経営戦略研究科

■ビジネススクール（経営戦略専攻）
■アカウンティングスクール（会計専門職専攻）

KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY　INSTITUTE OF BUSINESS AND ACCOUNTING

大同生命 寄付講座

「サスティナブル・ツーリズムの展開と地域創生」

開 催 趣 旨

関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科ビジネススクールでは、これからの革新的な企業経営に求められる高度な専門的知識とグローバルな視点を備えたプロフェッショナルの養成を目指しています。

このたびは、大同生命保険株式会社のご協力を得て「サスティナブル・ツーリズムの展開と地域創生」をテーマに公開講座を開講する運びとなりました。地域活性化の戦略として注目されている「観光まちづくり」にスポットをあて、観光政策と観光資源活用、観光ビジネスの最前線からホテルのMICE戦略、民泊・農泊を活用した地域連携、観光地ブランディング戦略など、企業と地域との共生といった切り口から、本研究科の特色である「理論と実務の融合」を感じていただきたいと思っております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

会　場	アプローズタワー13階　会議室1・2［大阪市北区茶屋町19-19　関西学院大学 大阪梅田キャンパス］
定　員	95名 ※先着順。定員に達し次第、締め切らせていただきます。
受講料	3,000円（資料・懇親会費を含みます）

日　程

11/10 土曜日

12:30〜13:00	受　　付（アプローズタワー13階　会議室1・2）
13:00〜13:10	経営戦略研究科よりごあいさつ **佐藤　善信**（関西学院大学　経営戦略研究科長）
13:10〜14:10	講演 「有馬温泉ブランディングの再構築 —観光カリスマの創造戦略—」 **金井　啓修氏**（有馬温泉旅館　陶泉御所坊　第15代主人　株式会社御所坊　代表取締役社長　国土交通省　観光カリスマ　一般社団法人有馬温泉観光協会　会長） **コーディネーター　佐竹　隆幸**（関西学院大学　経営戦略研究科　教授）
14:20〜15:20	講演 「淡路と瀬戸内海をつなぐ全域観光戦略 —連携による瀬戸圏構想—」 **赤松　正雄氏**（一般社団法人瀬戸内海　島めぐり協会　専務理事　元衆議院議員） **コーディネーター　佐竹　隆幸**（関西学院大学　経営戦略研究科　教授）
15:35〜17:20	パネルディスカッション 「地域のタカラ」を活かす！これからの観光まちづくり **パネリスト**（順不同） **金澤　和夫氏**（兵庫県副知事） **栗原　　一氏**（前たつの市長） **西村　典芳氏**（神戸山手大学　現代社会学部観光文化学科　教授） **境田　　司氏**（株式会社ポートピアホテル　取締役　副総支配人　営業本部長） **勝瀬　典雄氏**（県立広島大学　専門職大学院経営管理研究科　客員教授　6次産業化中央サポートセンタープランナー） **コーディネーター　佐竹　隆幸**（関西学院大学　経営戦略研究科　教授）
17:20〜17:35	経営戦略研究科の紹介 **佐竹　隆幸**（関西学院大学　経営戦略研究科　教授）
18:00〜19:30	懇親会　会場:ホテル阪急インターナショナル4階「月華」

ごあいさつ —寄付講座開設にあたって—

大同生命は、「中小企業の継続的な発展を応援していきたい」という想いをお伝えする取組みとして、創業100周年を迎えた平成14年度より、全国各地の大学で寄付講座を開催してまいりました。

これまでに受講されたみなさまからは大変ご好評いただいており、関西学院大学様では通算12回目の開催となります。

未来に向けてこれからも中小企業のみなさまとともに歩んでいくために、当講座をひとりでも多くの方にお役立ていただけるようご支援してまいりますので、お誘い合わせのうえご受講いただければ幸甚です。

DAIDO

大同生命保険株式会社

（ホームページ）　https://www.daido-life.co.jp/

講　座　概　要

2018年11月10日（土）

講演　「有馬温泉ブランディングの再構築 –観光カリスマの創造戦略–」

13:10〜14:10

有馬の源泉は100℃を超える。六甲山の北側中腹の温泉街。六甲山は活火山でもないのに高温の湯が沸くのか？海抜150mから神戸港の倍の塩分濃度の湯が湧く。その湯は600万年前の湯で、地下60kmの上部マントルの成分を含んだ湯だ。有馬は1700万年前の日本列島の中心だった！・・・かつては「日本三名泉」「日本三古泉」「日本三薬湯」と謳ってきた有馬だが、最近は国内外に向けて、日本唯一、世界唯一というような言い方が出来るように変えてきている。それとともに周辺地域を巻き込んだ観光地戦略を構築していこうとしている。

有馬地域内では、「有馬千軒プロジェクト」に見られるように、湯本坂を中心とする古い街並みの景観形成と共に、安心安全でそぞろ歩き出来る温泉街づくりを行っている。

またインバウンドは一方的な誘致ではなく、ウィンウィンの関係が大切だとの考えから、台湾やタイ王国とのタイアップも行っている。最近では中国にも地域づくりで招聘されることがある。有馬のマスタープランではプレミアム温泉地づくり、そして国際温泉リゾートを目指すことを謳っている。

小さな温泉地だが山椒と同様、小粒だがピリリと辛い！

金井（かない）　啓修（ひろのぶ）

有馬温泉旅館　陶泉御所坊　第15代主人
株式会社御所坊　代表取締役社長
国土交通省　観光カリスマ
一般社団法人有馬温泉観光協会　会長

1955年生まれ　有馬温泉出身。
1972年　三田学園高等学校を卒業。画家を目指して渡仏を計画するが、断念。
1977年　有馬温泉に戻る。以後週休五日制で家業に従事。
1980年　株式会社御所坊社長に就任
　　温泉街で、会員制テニスクラブ、居酒屋、洋菓子屋を開く。
1982年　人生の師と仰ぐ、無方庵　綿貫宏介氏に師事。
2016年　青年ブリーダー経験者として、初めて観光協会長に就任
　　直行バスの増加、有馬千軒プロジェクトなどを展開中。

講演　「淡路と瀬戸内海をつなぐ全域観光戦略 –連携による瀬戸圏構想–」

14:20〜15:20

国は成長戦略として「観光」を有望分野として位置づけています。つまり人口減少局面にある内需の縮小を補う外需の獲得、いわゆる外国からの観光需要を取り込めるチャンスでもあるわけです。

地域が自らの戦略を具現化し、観光イノベーションに取組んでいかなければなりません。

2014年に淡路島のホテルで「淡路島と瀬戸内海の観光活性化をめざして」をテーマにシンポジウムが行なわれました。井戸知事、門淡路市長をはじめ、国・各県市町村が集い、1府10県が取り囲む瀬戸圏の全域連携を視野に入れた観光活性化プロジェクトが動き出しています。

2015年に設立された瀬戸内海島めぐり協会は、このプロジェクトを遂行する重要なプラットフォームの役割を果たし、企業・地域の枠を超えたソーシャル・イノベーションの仕組みを創出する使命をもっています。今日は、淡路島を核とした瀬戸内海全域の観光活性化に向けた全容の一端をご紹介いたします。

赤松（あかまつ）　正雄（まさお）

一般社団法人瀬戸内海　島めぐり協会　専務理事
元衆議院議員

1945年兵庫県姫路市生まれ。慶應大学法学部政治学科卒。
公明新聞記者などを経て、衆議院議員を6期20年（1993年〜2013年）。この間に厚生労働副大臣を務める。
党にあっては、外交安保調査会長、憲法調査会座長を歴任。現在は、一社）「瀬戸内海島巡り協会」専務理事など。著書に『忙中本あり―新幹線車中読書録』（論創社）。

パネルディスカッション「地域のタカラ」を活かす！これからの観光まちづくり

15:35〜17:20

今後日本の経済・社会が成長を続けていくための切り札として、「観光」が大きく注目を集めている。人口減少社会、格差社会による構造的な課題が山積みになり、地方では地方創生戦略に基づく「しごと・ひと・まち」の創生に向けた取組みが進められている。特に経済発展の見込みが厳しい多くの地方で、観光にたよる地域活性化や雇用の確保を試みようとしている。

果たして、「観光」は地域創生の救世主となりうるのであろうか。これまでもさまざまな地域で観光振興が行なわれてきた、観光開発、ハード面のインフラ整備、テーマパーク誘致など、ある意味行政や外部の観光開発専門家の主導で地域住民の意向や地域資源の有効活用といった面がないがしろにされ、地域の活性化に反映されてこなかった事例も少なくない。

では、これからの「観光まちづくり」はどのように取組むべきなのか、どのような戦略が必要とされるのかについてパネルディスカッションで議論し、明らかにしていく。観光立国をめざす日本がいかに世界でアイデンティティをアピールすることができるかも問われている。インバウンドを含めた観光客、観光関連企業、さらには観光地に存立する地域企業や地域住民が「観光まちづくり」によって利益の分配がもたらされる「三方よし」を実現するサスティナブル・ツーリズムのあるべき方向性を共有する機会としたい。 今回のパネルディスカッションには、さまざまな分野でご活躍されている5名のパネリストに登壇いただく。たとえば、県・自治体行政の観光政策と地域観光事例から、ホテルを核としたMICE戦略の実践から、民泊・農泊を活用した地域連携から、またツーリズム研究の専門家からの知見など、観光振興に携わる現場の実践から現状や課題、戦略の実効について有意義な示唆をいただき、理論的考察を交えながら展開していく。

パネリストのご紹介

金澤（かなざわ）　和夫（かずお）　兵庫県副知事

1956年生まれ　神奈川県出身
1979年3月　東京大学法学部卒業
1979年4月　自治省入省
1994年4月　山形県遊佐町助役
1998年4月　兵庫県総務部次長兼財政課長
　（2002年3月までの4年間で、総務部長、企画管理部企画調整局長、企画管理部長を歴任）
2002年4月　国土交通省航空局飛行場部環境整備課長
2004年6月　熊本県副知事
2008年7月　内閣府地方分権改革推進委員会事務局次長
2010年1月　総務省大臣官房審議官（財政制度・財務担当）
2010年4月　兵庫県副知事（現職）

栗原（くりはら）　一（はじめ）　前たつの市長

1950年生まれ　兵庫県出身
明治大学法学部卒業
兵庫県立大学大学院環境人間学博士課程前期終了
衆議院議員秘書
兵庫県議会議員（4期）
たつの市長（1期）

西村（にしむら）　典芳（のりよし）　神戸山手大学　現代社会学部観光文化学科　教授

1962年生まれ　熊本県出身　近畿大学卒業後、大手学習塾に入社、27歳のときに社内起業し旅行会社の経営に携わる。44歳の時に「森林セラピー」と出会い、早稲田大学人間科学部に入学。卒業と同時に大学教員になる。その後、日本大学大学院総合社会情報研究科人間科学専攻を修了し、現在、和歌山県立医科大学大学院医学研究科衛生学教室在学中。病気を予防し、心と体の健康のための新しいツーリズム、「ヘルスツーリズム」を研究し、地域の健康づくりを通じて活性化の手伝いをしている。

境田（さかいだ）　司（つかさ）　株式会社ポートピアホテル
取締役　副総支配人　営業本部長

1969年生まれ　大阪市出身
1997年　ポートピアホテル入社
2012年　営業本部コンベンション部　部長
2013年　取締役コンベンション部長、首都圏営業所長を兼務
2015年より現職
入社以来、一貫してMICE事業に携わり、社内プロジェクトチームリーダーを多数務める。MICEによる地域活性化、組織への展開に力を注いでいる。

勝瀬（かつせ）　典雄（ふみお）　県立広島大学　専門職大学院経営管理研究科　客員教授
6次産業化中央サポートセンタープランナー

1953年生まれ　徳島県出身　公的機関の外部専門家として四国経済産業局クラスターマネージャーを担当後、東京に拠点を移し、中小企業庁地域資源タスクフォース、中小企業基盤整備機構　地域資源・農商工等連携担当マネージャー等を歴任するとともに、総務省緑の分権改革アドバイザー・農林水産省6次産業化中央サポートセンタープランナー・農林水産省農泊推進事業（岩手県八幡平市・栃木県塩谷町等）の企画プロジェクトマネージャーを担当、また県立広島大学専門職大学院客員教授として専門課程「ものづくり経営」を担当している。

コーディネーター

佐竹（さたけ）　隆幸（たかゆき）　関西学院大学　経営戦略研究科　教授

1960年生まれ　大阪市出身　博士（経営学）
兵庫県参与、メック株式会社社外取締役、神鋼鋼線工業株式会社社外取締役など役職多数
サンテレビ「しごとびと」・ラジオ関西「ラジオ関西　時間です！林編集長」レギュラーコメンテーター

懇親会　講座終了後に異業種交流を兼ねた懇親会を行います。　**会場:ホテル阪急インターナショナル4階　「月華」**

関西学院大学経営戦略研究科

大同生命 寄付講座

サスティナブル・ツーリズムの展開と地域創生

受講申し込み方法

① 関西学院大学経営戦略研究科ウェブサイト（https://www.kwansei-ac.jp）から大同生命寄付講座申し込みフォームに必要事項を入力し送信

申込ページURL

② 申し込み日から3日以内に受講料（3,000円）を振り込んでください。

③ 11月上旬以降、順次事務局から受講案内のメールをお送りします。

・定員（95名）に達し次第、受付を終了いたします。
・受付の終了は関西学院大学経営戦略研究科ウェブサイトにてお知らせいたします。

関西学院大学 大阪梅田キャンパス

阪急梅田駅茶屋町口下車北へ徒歩5分
大阪市北区茶屋町19-19 アプローズタワー10階・14階
TEL.06-6485-5611
https://www.kwansei.ac.jp/kg_hub/

関西学院大学経営戦略研究科

ビジネスを創造する高度な専門的能力を持つ社会人を育成する

21世紀の国際経済をリードする経営、会計のプロフェッショナルを育成

社会を構成する多くの要素が複雑化、高度化しています。経済活動における急速なグローバリゼーションは、企業や地方自治体をとりまく経営環境を大きく変化させようとしています。そのことは、企業経営や自治体経営において、既存のビジネスモデルやマネジメントシステムを継続する戦略だけでは不十分であることを意味しています。

世界規模で流動化する多様なシーンに対して、適切かつ迅速に対応するとともに、新たな企業や自治体の経営を主体的に創造する先駆的な戦略が求められています。

関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科は、これからの企業経営や自治体経営に求められる高度な専門的知識とグローバルな視点、そして、国際レベルのスキルを備えた21世紀型のプロフェッショナルの養成を目指します。転換期を迎えた日本経済を再構築し、確かな未来を開く、知性、国際性、人間性、そして豊かな倫理観を兼ね備えたビジネスとアカウンティングのリーダーが、ここ関西学院大学から誕生します。

経営戦略研究科（IBA）

専門職大学院

ビジネススクール（経営戦略専攻）
- 企業経営戦略コース　2年修了　週末・平日夜間に授業実施
- 国際経営コース　2年修了　昼間を中心に英語で授業実施

アカウンティングスクール（会計専門職専攻）
2年修了　昼間と夜間・週末に授業実施

大学院

先端マネジメント専攻（博士課程後期課程）

社会との関係を重視し、先端的なビジネスの問題を解決することに注力しながら、理論的な研究と実践性のある応用研究の双方を追求します。3年修了。昼夜間に授業実施。

フルラインの学びを提供する多彩なプログラム

経営戦略研究科には、世界に通用するビジネスパーソンを養成する「ビジネススクール（経営戦略専攻）」と、グローバル経済と地域経済に貢献し得る職業会計人の養成をめざす「アカウンティングスクール（会計専門職専攻）」の2つの専攻が設置されています。「ビジネススクール」には、社会人を対象に多様なプログラムを提供する＜企業経営戦略コース＞と、大学新卒者・外国人留学生を対象にすべての授業を英語で行う＜国際経営コース＞があります。また、応用性の高い研究に積極的に取り組む実践型研究者の養成の場として「先端マネジメント専攻（博士課程後期課程）」を設置しています。

詳しくは、 **https://www.kwansei-ac.jp**をご参照ください。

【個人情報の取り扱いについて】

本講座の申し込み時に、ご提供いただいた個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」に基づき、本講座運営と、社会に開かれた大学として関西学院大学が提供する公開講座などの教育プログラムのご案内にのみ利用させていただきます。

大同生命寄付講座に関するお問い合わせ先

関西学院大学経営戦略研究科事務室
TEL:0798-54-6572 / FAX:0798-54-6581
E-Mail：ibaseminar@kwansei.ac.jp